



発行所
一般社団法人
神奈川県造園業協会
横浜市中区常盤町2-10
伸光ビル2階〒231-0014
電話 (045) 662-8793
662-1767
FAX (045) 662-4381
年間購読料 3,150円
(郵送料を含む)
ただし会員の購読料は会費に含まれています。



<http://www.kanagawazoen.or.jp>

年頭のあいさつ

(社)神奈川県造園業協会

会長 渡邊 宣昭



新年あけましておめでと
うございます

新春を迎えるにあたり謹



杉本薫氏提供

んでお慶び申し上げますと共に、造園業界の皆様のご発展とご健勝を心から祈り申し上げます。

私も会長に就任して二年目の正月を迎え、「より良い協会をつくる」為に決意を新たにしているところでございます。

日本経済も長引くデフレから早期に脱却しようとして、様々な取り組みがなされ、アベノミクス効果により、一部には景気回復の基調も

見られ、更に、東京オリピック開催に向けて整備の進展が期待されておりま

す。しかしながら、私ども造園業界に取りましては実体的経済は依然として厳しいものがあります。

この様な厳しい経営環境の中、当協会も平成二十五年四月に一般社団法人に移行し、協会の改革に取組み、更に本年二月には創立四十年の記念すべき慶事を挙

行することになりました。これも偏に会員の皆様を始め関係各位のご支援ご指導の賜物と心から感謝申し上げます。

これを機に心を新たに緑の創生、再生、保全を司る専門事業者として全員が一丸となって、協会の使命である造園緑化事業の健全な発展と造園・緑化に関する知識、技術の普及啓発を図り、もって都市環境の整備及び都市緑化の推進に寄与するとともに、社会貢献活動にも積極的に取り組み、新たな仕事の創設につなげていきたいと思っていま

す。今年度も校庭芝生化プロジェクトチームにより幼稚園・保育園や学校の芝生化モデル事業を実施し、校庭

の土壤改良や維持管理についての事例を積み重ね校庭芝生化の普及啓発と事業促進に向け関係各位と連携し取り組んでまいります。

また、造園業界の持続的発展のためには、時代のニーズに応じた技能・技術の向上と継承は喫緊の課題であります。神奈川県相模原公園日本庭園「衆遊の庭」作庭に引き続き、今年度も作庭塾「庭守」による実践的研修会や技能検定を始め各種資格取得のための各種研修会を開催し、次代を担う造園人の養成と技能・技術の向上に積極的に取り組んでまいります。

大変厳しい経営環境の中皆様と手を携えて造園業界で働く人々が明るい未来と希望が持てるよう、協会の経営合理化、庭園部会・公園緑地部会等三部会、教育研修委員会等四委員会の体制づくりと活動の充実に向け、一層取り組んで参ります。

どうぞ、今年も皆様方のご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。

明けておめでとうござい

私がお日本大震災直後に知事に就任してから4回目の正月を迎えました。振り返りますと、「いのち輝くマグネット神奈川」の旗印の下、県民の皆様との対話や議会での議論を重ねながら、その実現に全身全霊を傾けてきました。

まず、原発に過度に依存しない安全で災害に強い分散型エネルギー社会の構築に向けて、太陽光発電の普及やスマートハウス（エネルギー自立型住宅）の導入促進などに徹底的に取り組

んでいます。そして、超高齢社会を乗り切る神奈川モデル「ヘルスケア・ニューフロンティア」を世界に発信し続けました。最期まで健康で長生きしてよかったですと思える神奈川をめざし、3つの特区を活用して最先端医療の追求や未病を治す取組み、介護・医療など生活支援ロボットの活用などを、強力に推進しました。

そのほか、大規模災害時の救急医療支援訓練「ビッグレスキューかながわ」や不活化ポリオワクチン接種の実施、准看護師養成停止を決めたことでの看護師の激増など、「いのち」に直結する県独自の先進的な取組みも進めました。

地域の個性を最大限に生かし、人を引きつける神奈川づくりにも積極的に取り組んできました。未病を治す取組みを戦略的に展開する「県西地域活性化」、横浜、鎌倉、箱根に次ぐ「第4の観光の核づくり」、文化芸

40周年記念式典 記念講演・祝賀会 のご案内

日時 平成27年2月10日(火)
場所 ローズホテル横浜

スケジュール

- ◇式典 14:10～15:30
- ◇記念講演 15:40～17:10
講師 C.W.ニコル氏
(作家・環境保護活動家)
演題 「森から未来をみる」
- ◇祝賀交換 17:30～19:00

☆お誘い合わせの上、ご出席賜りますよう宜しくお願い致します



二〇一五年、加速する かながわの挑戦

神奈川県知事

黒岩 祐治

明けておめでとうござい

私がお日本大震災直後に知事に就任してから4回目の正月を迎えました。振り返りますと、「いのち輝くマグネット神奈川」の旗印の下、県民の皆様との対話や議会での議論を重ねながら、その実現に全身全霊を傾けてきました。

まず、原発に過度に依存しない安全で災害に強い分散型エネルギー社会の構築に向けて、太陽光発電の普及やスマートハウス（エネルギー自立型住宅）の導入促進などに徹底的に取り組

んでいます。そして、超高齢社会を乗り切る神奈川モデル「ヘルスケア・ニューフロンティア」を世界に発信し続けました。最期まで健康で長生きしてよかったですと思える神奈川をめざし、3つの特区を活用して最先端医療の追求や未病を治す取組み、介護・医療など生活支援ロボットの活用などを、強力に推進しました。

んできました。

そして、超高齢社会を乗り切る神奈川モデル「ヘルスケア・ニューフロンティア」を世界に発信し続けました。最期まで健康で長生きしてよかったですと思える神奈川をめざし、3つの特区を活用して最先端医療の追求や未病を治す取組み、介護・医療など生活支援ロボットの活用などを、強力に推進しました。

そのほか、大規模災害時の救急医療支援訓練「ビッグレスキューかながわ」や不活化ポリオワクチン接種の実施、准看護師養成停止を決めたことでの看護師の激増など、「いのち」に直結する県独自の先進的な取組みも進めました。

地域の個性を最大限に生かし、人を引きつける神奈川づくりにも積極的に取り組んできました。未病を治す取組みを戦略的に展開する「県西地域活性化」、横浜、鎌倉、箱根に次ぐ「第4の観光の核づくり」、文化芸

術の力で集客する「マガカール」。「かながわ商店街観光ツアー」も大変好評です。地域の活性化を図るといふ点では、さがみ縦貫道路の相模原愛川インターチェンジから高尾山インターチェンジ間が昨年6月に開通したことで、東名高速道路と中央・関越自動車道がつながり、利用者の利便性が飛躍的に向上しました。さらに、平成26年度中には、さがみ縦貫道路が全線供用となり、湘南地域と関東一円が結ばれることになりました。

これらの政策が実を結ぶことで、経済のエンジンが回つてくると確信しています。日本がデフレから脱却できるかは神奈川にかかっている、そんな気概をもって政策をさらに推進していきます。

皆様には引き続き、県政への温かいお力添えをお願い申し上げます。

平成27年(2015年)

謹賀新年



一般社団法人
神奈川県
造園業協会役員一同

- 鈴木 一松 相談役
- 岸本 和好 相談役
- 石川 龍二 相談役
- 渡邊 宣昭 会長
- 大胡 周一郎 副会長
- 高橋 克明 副会長
- 小山 俊一 副会長
- 甘利 憲一 副会長
- 瀧川 隆雄 理事
- 川原 正行 理事
- 岸 純一 理事
- 小出 正治 理事
- 今泉 健壽 理事
- 小川 名真 理事
- 清水 克巳 理事
- 高橋 更一 理事
- 生駒 隆一 理事
- 大橋 清己 理事
- 細野 仁 理事
- 金子 篤司 理事
- 笠原 三貴也 理事
- 古川 香 理事
- 岡部 一郎 理事
- 原 茂弘 理事
- 富田 改 理事
- 足立 原哲男 理事
- 河本 永一 理事
- 川田 秀一 理事
- 新倉 治 監事

小網代の森の保全と 利活用の取り組みについて

神奈川県自然環境保全課

三浦半島の南部に位置する小網代の森は、小河川による水系を軸に、森・湿地・干潟・海がつながる集水域の生態系が自然状態のまま残っている首都圏で唯一の緑地です。面積約70haの広大な緑地であり、希少種を含む多様な生物の生息・生育空間を形成している極めて貴重な自然環境を有しています。

県では、この貴重な自然環境を残していく必要があると考え、平成7年ごろから、この森の保全に向けて関係者の方々と調整を始めています。

その結果、平成17年度に、国から首都圏近郊緑地保全区域の指定を受け、その後も地権者の方々と話し合いを進めた結果、平成22年2月に保全に必要な用地の買入れが終了しました。

そして、平成23年10月に、県は近郊緑地特別保全地区に指定し、併せて、市街化区域から市街化調整区域へ編入し、小網代の森の保全を図ることになりました。

小網代の森は、昭和50年代までは、薪炭林として、また谷底や湿原は水田に利用され、生活のなかで利用される里山として成り立っていました。その後、水田は、耕作放棄地となり、湿原は乾燥が進んで、ササに覆わ

れることになりました。また、樹木の巨木化や外来植物などの侵入により、谷の照度が大幅に低下して、水系の生物多様性が低下しました。

そこで小網代の森の保全に長く携わってきたNPO法人小網代野外活動調整会議は県と協働で、草刈や間伐などの森林の手入れを行うとともに、浦の川の所々に間伐材を利用した堰を設けて、水を周囲に拡散させることで、乾燥化が進んでいた水田の湿潤化を進め、森と湿原の回復を実現しています。

近年では、アユが遡上し、夏にホタルが鑑賞できるなど、自然環境の保全・再生は着実に進んでいます。

県では、小網代の森の貴重な自然環境を守りつつ、「環境学習の場」として利活用していただくため平成23年から散策路等の施設を整備し、平成26年7月に一般利用を開始しました。

また、学識経験者、自然保護団体、地元関係者、民間企業と行政などから構成される「小網代の森保全利活用対策協議会」を立ち上げ、小網代の森の利用に関するルールづくりや行政と民間企業等が協力・連携した様々な取り組みを検討しています。



空から見た小網代の森



アカテガニの放仔の様子

平成26年度は、環境学習の企画として、アカテガニ放仔観察エコツアーを実施しました。

今後、こうした環境学習に関する様々なイベントを開催することで得られる収益を小網代の森の保全に充てるようなくみづくりについて、検討していきます。

「みどり行政に関する要望書」

神奈川県及び出先機関へ提出

(社)神奈川県造園業協会と(社)日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、九月二十五日と十月一日に神奈川県吉川副知事・浅羽県土整備局長・金子環境農政局長・桐谷教育長を始めとする幹部職員に対し平成二十七年向け要望書を提出し、次の六項目について要望しました。

環境対策として、①景気・画的な社会資本の整備保全や災害対策としての防災公園の設置並びに都市公園の整備等緑化関連公共事業の予算の確保・増加と受注機会の確保について②公園・緑地及び道路、河川、港湾、住宅施設等のうち造園に関わる整備及び維持工事は地域の実情に応じて分離し指定建設業種である造園専門業者に発注を、また、発注にあたっては公共工事の品質確保を図るため、工事実績、造園に関する各種資格所有者の技術力等の評価の考慮について③一般社団法人日本造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用と街路樹剪定士を下請けではなく元請けの条件として仕様書の明記について④校庭及び園庭の芝生化の推進並びにグラウンド基盤の整備を図るための助成措置と芝生化工事及び維持管理工

事(社)神奈川県造園業協会と(社)日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、九月二十五日と十月一日に神奈川県吉川副知事・浅羽県土整備局長・金子環境農政局長・桐谷教育長を始めとする幹部職員に対し平成二十七年向け要望書を提出し、次の六項目について要望しました。

①景気・画的な社会資本の整備保全や災害対策としての防災公園の設置並びに都市公園の整備等緑化関連公共事業の予算の確保・増加と受注機会の確保について②公園・緑地及び道路、河川、港湾、住宅施設等のうち造園に関わる整備及び維持工事は地域の実情に応じて分離し指定建設業種である造園専門業者に発注を、また、発注にあたっては公共工事の品質確保を図るため、工事実績、造園に関する各種資格所有者の技術力等の評価の考慮について③一般社団法人日本造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用と街路樹剪定士を下請けではなく元請けの条件として仕様書の明記について④校庭及び園庭の芝生化の推進並びにグラウンド基盤の整備を図るための助成措置と芝生化工事及び維持管理工

防犯公園の設置や都市公園の整備、緑地の保全は生活面でも大変重要であり、知事も緑行政の柱としており、また、2020年のオリンピック開催も踏まえて、多くの観光客が横浜・鎌倉・箱根等を訪れた時に街路樹が整備され緑陰豊かな素晴らしい都市景観が形成されていると感じられるような取り組みや県立公園の防災機能の強化と緑地の整備を進めて行くほか街路樹剪定士の元請けとしての条件では、我々も知恵を出して全部は無理ではあるが進めて行く、また、業者選定では、いのち貢献で県土整備局が試行と行うことで実施しているが環境農政局でも試行と言うことで実施するよう広めて行く予定であるとの論議が交わされました。



浅羽県土整備局長に要望



吉川副知事に要望



桐谷教育長に要望



金子環境農政局長に要望

二十一日と二十二日の二日 事務所をはじめ各土木事務所間にわたり横浜川崎治水事 等県土整備局十二箇所、自

然環境保全センター、県央地域県政総合センター等環境農政局七箇所、企業庁水道局寒川浄水場等計二十箇所の出先機関に要望を行いました。

高所作業車運転
技能講習会(10m
以上)を開催

公園緑地部会・教育研修
委員会主催の高所作業車運
転技能講習会がキャタピ
ラー教習所(相模教習セン
ター)で九月
十日・十一
日・十二日
の三日間
にわたり、
三十名の参
加を得て行
われました。

講習会初
日開校式に
おいて、大
谷公園緑
地部会副部
会長の挨拶
後、講習会
がはじまり
ました。
十日の座
学講習で
は、参加者
全員が聴講
し、実技講
習では、一
度に全員が
試験を受け
る事が出来
ないため二
班に分け
て、二日間
で実施され
ました。
学科・実
技試験終了
後、合格者



には安全衛生法による技能
講習修了証が交付されまし
た。

第三十五回
「よこはま技能
まつり」に参加

第三十五回「よこはま技
能まつり」が十月二十六日
(日)に横浜公園において
主催横浜市技能職団体連絡
協議会、共催横浜市、神奈
川新聞社協力で開催され、
神造協をはじめ三十二の市
内の技能職団体が参加し、
日頃から磨いているものづ
くりの職人技を発表・展示
し、横浜の技能の素晴らし
さを披露し、訪れた人々の
賞賛を受けていました。
神造協ブースでは、展示
実演として一級、二級の技
能検定実技試験実施写真の
展示、庭園や各種竹垣製作
写真のパネル展示、希望者

第十七回
横浜マイスター
まつり開催される

十一月十六日(日)に横
浜市技能文化会館・大通り
公園で主催横浜マイスター
会・横浜市経済局・特定非
営利活動法人「横浜マイス
ター友の会」共催で開催さ
れました。

このまつりは、毎年横浜
マイスターが一堂に会し、
「匠の技」を披露すること
により、日本人がわずかか
けていた技能をいつの時代
にも語り継ぎたいとの思い
で開催されており、
当協会では、大胡周一郎



マイスターが製作庭園のパ
ネル展示、庭木手入れ相談、
四つ目垣結縄の指導等、荒

川昭男マイスターが黒松の
手入れ、剪定実演を行い熱
心な質問・相談を受け好評

を得ました。



を対象に四つ目垣の立子の
結束講習、竹製の花器販
売、花の種の無料配布、造
園・園芸相談等が行われま

した。
技能まつり等の一つ一つ
の取組みが伝統的技術の承
継と広がりにつながればと

思います。



四十周年記念
第十四回親睦ゴルフ
県大会の開催

協会の数少ない親睦会と
して第十四回目を迎えた今
年のゴルフ大会は、レイク
ウッドゴルフクラブで行な
われました。参加者七十七
名。(会員七十一名・みど
り議員連盟五名・賛助会員
一名)

当日は温かい穏やかな良
いお天気の中気持ちよくプ
レーを楽しんでいました。
池とバンカーが精神的プ
レッシュャーになり、ス
コアも全体的に厳しい
ものがありました。

優勝は戸塚支部三枝
木寛也氏、準優勝はみ
どり議員連盟柳下剛
氏、第三位は港北支部
川原正行氏が入賞し、
栄えあるベストグロス
賞はグロス七十三で県
北支部曾根忠和氏が受
賞いたしました。

今年度は、牧島みど
り議員連盟顧問、嶋村幹事
長、桐生・石井・柳下議員
にご参加いただき有難う御
座いました。
(尚)細野植産細野さんにお
願ひした沢山の花鉢の香り
がパーティ会場を埋め尽く
し、また、当協会設立四十
周年を記念して今回も更な
る豪華賞品が多数授与さ
れ、優勝者のスピーチも行
われ、華やかな秋の1日と
なりました。



どうぞまた腕を磨いて来
年に挑戦して頂きたいと思
います。幹事の皆様有難う
ございました。

病害虫防除講習会
開催のご案内

〜農薬の適正使用と安全
管理・人の健康や環境リス
クに配慮した樹木の防除技
術について、
当協会と神奈川県農業技
術センター病害虫防除部・
神奈川県植木連合会と共催
で平成二十六年第二回病

害虫防除講習会を左記のと
おり実施致しますのでご参
加くださいますようご案内
いたします。
第2回講習会
日時 平成二十七年二月四
日(水) 一時三十分
会場 神奈川県農業技術セ
ンター多目的ホール
定員 百五十名
なお、詳細は神造協ホー
ムページに掲載しておりま
す。

害虫防除講習会を左記のと
おり実施致しますのでご参
加くださいますようご案内
いたします。

40周年記念事業

神奈川県立相模原公園 日本庭園「衆遊の庭」完成

作庭塾「庭守」会長 荒川 昭男

秀麗の候 さる10月11日(土)に県立相模原公園日本庭園「衆遊の庭」の完成式が行われました。協会40周年記念事業のメインとなるこの庭園は日本庭園の伝統的技術の習得・技能向上と継承を目的として充足した作庭塾「庭守」の若手会員及び協会指導員の皆様が平成25年3月3日から平成26年10月4日の土日延べ22日間約1年半かけて取り組み、関係各位のご尽力ご支援により完成することが出来ました。心より厚くお礼申し上げます。

今年生まれに見る台風のあたり年となり、完成式の直前まで気を揉み神経を使つての工事でしたが、完成式は40周年記念事業を祝福するかのよう好天に恵まれ、協会役員・40周年記念事業準備委員をはじめ関係者並びに吉川伸治副知事、浅羽義里県土整備局長等幹部職員及び松田良昭神奈川県議会みどり議員連盟会長等関係議員、また、公益財団法人神奈川県公園協会新倉隆専務理事をはじめ関係団体多数のご出席を得て行われました。

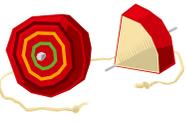
主催者挨拶の後、吉川副知事より、協会の皆様から、一昨年に人材育成と技術継承の場として県立相模原公園を提供してもらえないかとお申し出をいただき、県といたしても企業の社会貢献活動への協力として喜んで公園内の日本庭園を使つていただくこととしたものでございまして、本日素晴らしい成果として私たちの前に現れました。

この日本庭園は、こどもたちが飛び石や延段を無邪気に走り回ったり散策に訪れた方が石のベンチに腰を下ろして石組みを眺めたり満開の桜や木々の緑、紅葉などの季節感を感じられるよう県民の皆さんが楽しめるようにとの願いを込めて作つていただいたものであり、多くの人々に愛され親しんでいただけるよう「衆遊の庭」と名付けられと聞いております。

今まさに、多くの県民に親しまれる庭園になったことに重ねてお礼を申し上げますとともに、神奈川県造園業協会におかれましては今後とも引き続き庭園管理等にご協力をお願い致しま

す。県といたしましては、今後も「本県の緑行政」にしっかりと取り組んでいく上で、皆さまの優れた造園技術と豊富な知識・経験が必要と考えておりますので引き続きご協力くださるようお願い申し上げます。ご挨拶があり、続いて松田神奈川県議会みどり議員連盟会長より、遠くから眺める庭ではなく、子供たちが自由に須弥山に登つて遊んだり、触れたりでき、また、散策に來られた方が悠々と季節の移ろいを楽しめるこれまでになく、誰もが楽しめる開放的・回遊的庭園を作つて下さつたと心のこもつたご挨拶が述べられ、長期間にわたりご尽力とご苦労された関係者に対し、感謝と謝辞が寄せられました。

完成式終了後、野点の席が設けられ和やかにお点前を楽しみました。



松田神奈川県議会みどり議員連盟会長挨拶



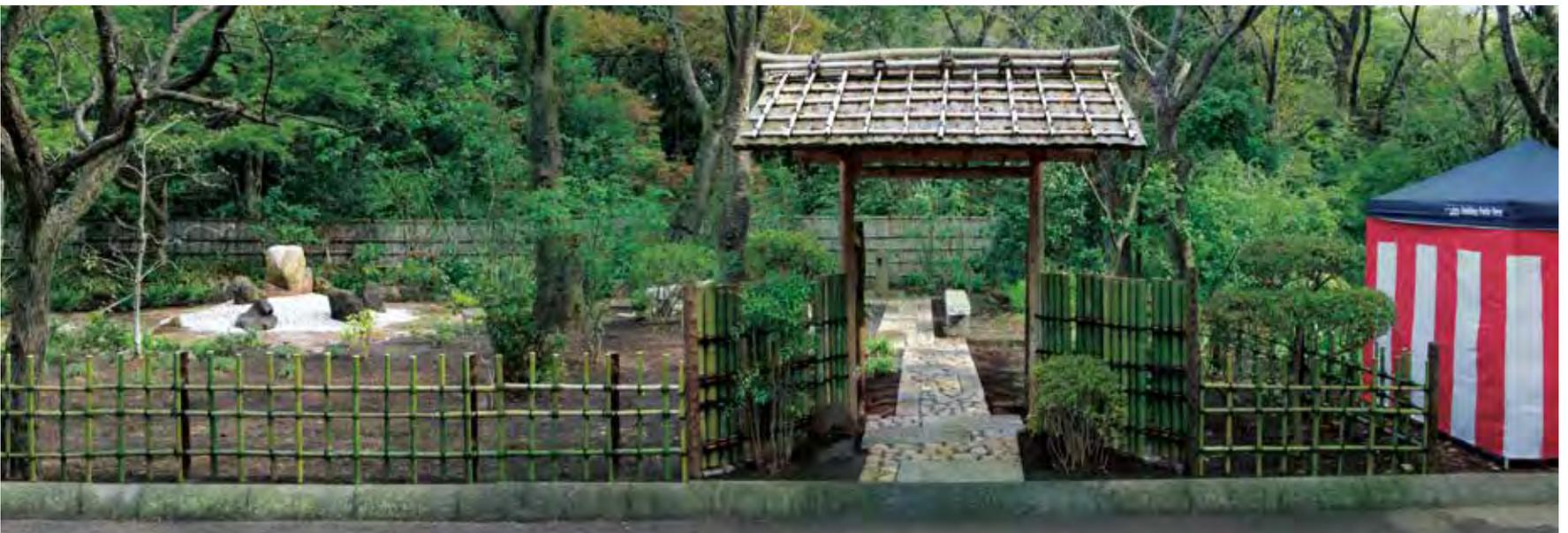
吉川副知事挨拶

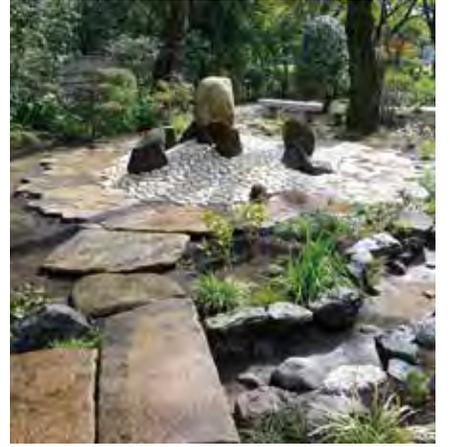
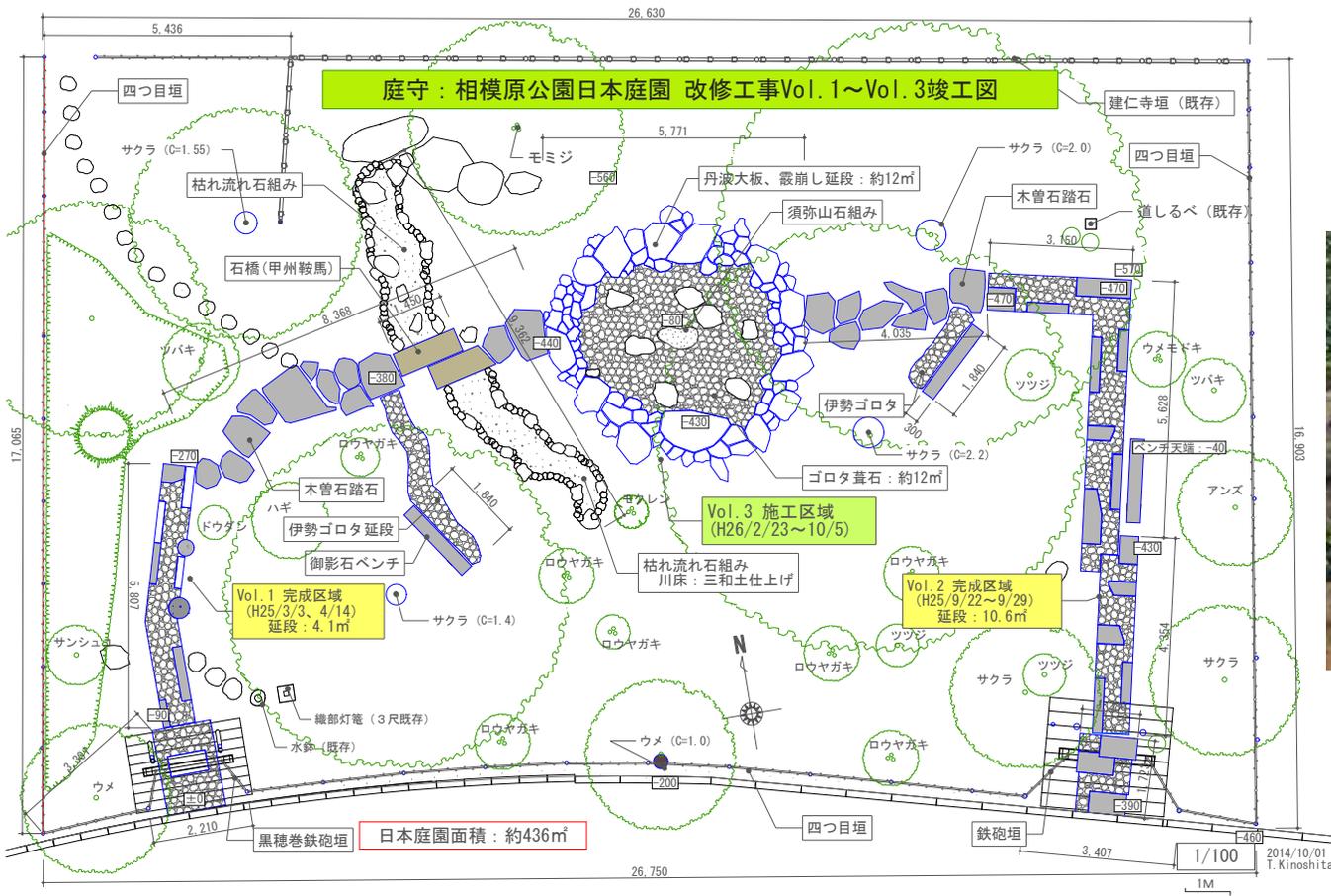


野点の席



須弥山の説明





平成23年3月11日の東日本震災から3年以上経過し、地域公園整備や街路計画が具体化してきた一方、支援が少なくなってきた状況から、「花と緑の力で3・11プロジェクトみやぎ委員会」より支援の要請を受け、40周年記念事業として支援するため会員に樹木の無償提供をお願いしたところ(尙横山植木、大樹園、萩原園、奥平園、小島園芸センター、(尙)小田原植木、正中屋、港北支部から多数の申し出があり、低木1,255本、中木396本、高木(記念樹)6本(ハナミズキ3、シダレウメ1、ヒメシヤラ2)を現地に届ける運びとなった。

平成26年11月30日(日)早朝、記念事業委員長の青木治氏(尙)アオキグリーン)と樹木・資材委員長の柏木武司氏(柏木園芸)のトラックに松井前局長、中島局長、私が同行し、2台満載の荷を宮城県仙台市若林区六郷の東六郷公園(仮称)ほか数カ所の植栽地に届けた。

霧による東北自動車道の一部通行止めのアクシデントにより、朝から集まっていた市民団体の方々を正午近くまで待たせることになってしまったが、我々を

暖かく歓迎してくれた。今回支援の橋渡しをしてくださった「花と緑の力で3・11プロジェクトみやぎ委員会」(<http://izumi-green.co.jp/site/shien/>)の会長・鎌田秀夫さん(写真一番右、泉造園建設社長)の挨拶の後、地元「河北新報社」の取材を受けながら東六郷移転推進協議会代表者落合義光氏に目録の贈呈が行われた。昼食もそこそこに荷下ろしした材料を(社)宮城県造園建設業協会若林分会の会長始め4名の有志職人さん(写真中央から右5人)が手際よく植栽し、殺風景だった小さな公園に緑の風が入る。

公園から海側を望むと1kmほど先に津波の盾となつた仙台東部道路が見え、その間の広大な田んぼは海水に浸かったようだ。公園の周囲は造成が終わつただけでまだ一軒も建っていない住宅建設予定地であり、復興はまだまだ始まったばかりという観である。今回のような支援が単発で終わらず継続的に行われてこそ本当の復興支援であろう。なお、届け先や樹種内容は次号の会報252号で詳しく掲載する予定です。

40周年記念事業「花と緑の力で3・11プロジェクトみやぎ委員会」への樹木寄贈報告

情報委員長 木下 透



目録の贈呈



●(社)神奈川県造園業協会・
小山俊一 副会長が
旭日双光章を受章する

当協会の小山俊一 副会長がこの度、秋の叙勲で(平成二十六年十一月十三日午前十時三十分より東京プリンスホテルにて、国土交通省大臣から伝達式) 旭日双光章を受章した。

平成二十年の鈴木会長、平成二十二年の石川副会長に次ぐ三度目の慶事となり協会の四十年の歩みが評価されてきた賜物であろう。

小山副会長は、理事・副会長として通算二十年間協会の運営に積極的に参画し、協会経営の合理化・電子化や基盤整備に尽力するとともに、業界の発展に多大な尽力をされた。

小山副会長は、「このたびは、神奈川県造園業協会のご推薦により、はからずも旭日双光章受章の榮譽に浴しましたことは、身に余る光栄で、厚くお礼を申し上げますとともに、このた

●会員名簿の変更●
(平成25年度名簿)

新入会員

- 横浜中央支部 株サン樹 〒233-0002 横浜市港南区上大岡西2-8-20 代表者 鈴木雅富 TEL045-353-8516 FAX045-353-8561
○横須賀支部 南湯山造園土木 〒238-0101 三浦市南下浦町上宮田17960 代表者 湯山克己 TEL046-888-0337 FAX046-889-1491
株緑産業 〒238-0036 横須賀市山中町146-28 代表者 小越勝己 TEL046-876-8890 FAX046-876-8898
○湘南西 株自笑園 〒250-0401 足柄下郡箱根町宮城野342番地 代表者 松本正憲 TEL0460-88-2521 FAX0460-82-3463

社名変更

- 戸塚支部 (会員名簿P.41) 鈴木農園→株鈴木農園
代表者変更
○港北支部 株マエキ (会員名簿P.26) 代表者 大庭富夫→大庭一哲
○緑・東支部 丸子園 (会員名簿P.28) 代表者 大久保子之介→大久保明
○緑・南支部 南大作造園 (会員名簿P.29) 代表者 中山庄作→中山優作
○旭支部 南関水商事 (会員名簿P.35) 代表者 関水金作→関水裕一
○瀬谷支部 小島造園株 (会員名簿P.39) 代表者 高橋更一→小島貴洋
○金沢・磯子支部 京急緑地開発株 (会員名簿P.43) 代表者 櫻野敏彦→坂齊素彦
○横浜港南支部 株港南植木ガーデン (会員名簿P.47) 代表者 笠原三貴也→笠原和弘
○川崎南支部 株植春造園 (会員名簿P.48) 代表者 高橋克明→高橋弘治
○横須賀支部 株花山 (会員名簿P.53) 代表者 川手勝→川手道子
株玉井造園 (会員名簿P.54) 代表者 玉井賢次→玉井隆次
○県央支部 南相模緑地造園 代表者 小林三千男→小林宏之
○県北支部 鈴野緑地土木株 (会員名簿P.67) 代表者 鈴野孝幸→鈴野隆大
社名・代表者変更
○川崎南支部 (会員名簿P.48) 南八兎建設→南八兎造園 代表者 高橋成年→高橋伸介
社名・代表者・FAX変更
○瀬谷支部 (会員名簿P.38) 粉山園→株粉山園 代表者 粉山恒雄→粉山栄治 FAX045-304-5603

●(社)神奈川県造園業協会・
大胡周一郎 副会長が
黄綬褒章を受章する

びの受章は私個人のものでなく一般社団法人神奈川県造園業協会や私たちが造園業者の活動が広く社会に認められていた証です。私は代表していただくわけです、この慶びは会員の皆様と共に分かち合いたいと思っています。

さて現在クローズアップされている地球温暖化防止等環境改善をしていかなければならない問題等多くありますが、私達緑にかかわることの出来る唯一誇れる業種だと思えます。

今回の受章を期に尚いっそう精進してまいりませう。今度の受章を機に、なお一層精進し、いささかなりとも社会ならびに造園業界の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、従前にもましてのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



●(社)神奈川県造園業協会・
大胡周一郎 副会長が
黄綬褒章を受章する

このたびの受章は、先輩諸氏を差し置いての受章で誠に申し訳なく思います。今回のことは、私個人にとりより、協会の諸先輩方や多くの関係者が、協会を通して社会貢献をしてまいりましたことが、評価いただけたものと受けとめています。

今回の受章を機に、なお一層精進し、いささかなりとも社会ならびに造園業界の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、従前にもましてのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

大胡副会長は、多くの個人邸の作庭を通じて、優れた作庭技術・技能及び知識を習得され、その技能技術・知識や景観美は造園業界から高く評価されており、また、技能検定員及び指導員として造園業界の人材養成に多大な尽力をされたことが評価され、今回の受章となったことは、協会全体の慶びでもある。



表彰コーナー

平成27年(2015年) 神奈川県造園人 賀詞交換会開催のご案内

恒例の神奈川県造園人賀詞交換会は、下記のとおり予定しております。

- 記
1 日時 平成27年1月13日(火) 午後6時
1 場所 ロイヤルホールヨコハマ
1 会費 男性6,000円 女性3,000円 TEL 045-641-1122

- 神奈川県 卓越技能者 小出正治 小出造園
優秀技能者 長谷川寿雄 (南)正進園
青年優秀技能者 石館和也 (南)井上造園土木
渡部敦士 (南)植定

- 川崎市 技能功労者 川村廣道 川村造園
優秀技能者 齋藤 淳 (南)齋藤造園
優秀青年技能者 石井吾郎 千鳥造園工事株

- 横浜市 技能功労者 関水金作 (南)関水商事
山田眞一 (南)山田造園



事務局情報 (月間行事一覧) ●諸会議その他●

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes events like '情報委員会', '第8回技能士コース', '協会理事会', etc.

Advertisement for Bridal Banquet Stay Restaurant at Hotel Yokohama Garden. Includes address, phone number, and website.



支部だより

初秋の東北へ研修旅行

湘南東支部 情報委員

犬山 清史

暑さ残る9月7日〜8日、秋の気配を求めて東北での研修旅行を行いました。ここ数年、湘南東支部では屋久島や黒部など手つかずの自然を体感できる場所を選んでいきます。今年の目的は白神山地、まずは十二湖を拠点とした3時間ほどのトレッキングを楽しみました。元営林署職員のガイドさんに案内してもらい、白神山地の植物やたくさん湖が出来た背景を聞きながらブナ林の中を歩きました。ガイドさんは我々が造園業者だということを聞き、同じ植物を扱う仕事としていろいろな話をしてくれました。街で見かける樹種でも森の中では樹形が違ったりや樹種によって子孫の残し方が違うことなど興味深い話ばかりでした。コース途中の日本キャニオンは絶景で、短い時間でしたが印象的なトレッキングでした。

バスは岩手山麓北側を通って宿に向かったのですが、山裾に広がるリング畑と収穫風景、そしてぎつちりケースに詰められ積み上げられた大量のリンゴは我々には新鮮な景色でし



洋館と日本庭園の組み合わせが珍しい盛美園



ガイドから白神山地の自然について聞く

た。ランプの宿として有名な青荷温泉に到着、本日にテレビもないラジオもない宿で郷土料理や地元食材を堪能し、ゆっくり温泉に

つかったのんびりした一夜を過ごしました。翌朝バスに乗り平川市の盛美園へ。明治35年より9年間かけて作庭された廻遊式庭園で、庭園を眺めるために建てられた盛美館とともに大石武学流の代表的な名園です。和洋折衷の盛美館の外観と庭園のコントラストに明治文化の薫りを感じることができました。

次は田舎館村の田んぼアート会場へ。失礼ながらこんな田舎に人が集まるなんて本当かと思つたのですが会場につい

てその混雑ぶりにびっくり。そして村役場の展望台から眺めたその風景に改めてびっくり。異なる種類のお米(稲)で作られた田んぼはまさにアートでした。弘前市の工芸品であるブナコのシヨールーム、昼食後は石垣の修復を行う準備中の弘前城を見学後、大館館代空港から帰路につきまし

た。一泊二日の短い時間でありましたが、造園という分野が地域の自然や文化と深く関わっていることを改めて感じられる旅となりました。この経験を活かして地域に根ざした環境づくりにもこれからは精進したいと思います。

まずは、国分寺駅前に位置する、国指定名勝・殿ヶ谷戸庭園へ、回遊式の庭園は、里から溪谷へ向かう旅路を縮小して楽しめる様な造りで、里に見立てた芝地から秋のトンネルを抜けると堂々とした姿の藤棚が迎えてくれます。



ダイナミックな日本キャニオン

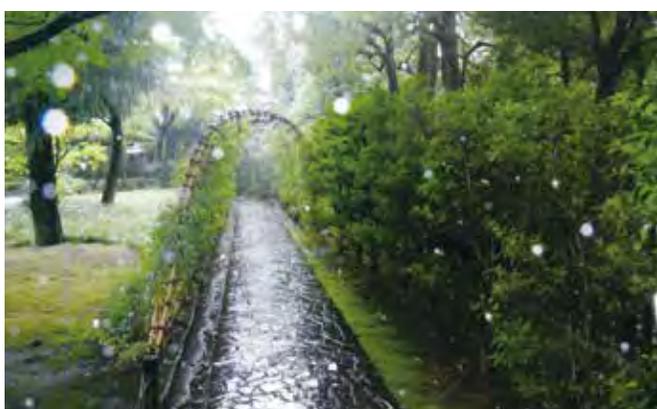


田舎館村役場展望台からの眺め

十月五日(日)台風十八号の影響によりあいにくの雨模様でしたが、出席者十八名、鶴見支部青年部は都内三ヶ所の名庭を巡って参りました。



殿ヶ谷戸庭園 次郎弁天池にて



殿ヶ谷戸庭園 萩のトンネル



旧岩崎邸庭園 芝庭



旧岩崎邸庭園 洋館前にて

鶴見支部青年部 庭園見学会

鶴見支部 情報委員

前田 陽介

島百花園、重要文化財・旧岩崎庭園を見学しました。向島百花園は四季の花を数多く楽しめる庭園で、随所に建てられた碑から庭造

りに協力された江戸の文人墨客の足跡も辿る事が出来ました。旧岩崎庭園は近代庭園初期の形とされる芝庭で、ヒマラヤ杉やモッコクなどの大木も自然とつり合いがとれるほど、その景色は雄大でした。

この芝庭を現代住宅の限

られた空間の中で、縮景としてどこまで表現出来るか、部員一同、また新たな課題となっていました。庭園見学を終え、鶴見区内で行われた反省会では、今後この様な勉強会を行い、知識、技術を共に向上させていこうと結束を固めました。

名木古木視察一泊研修会に参加して

(有)木下庭園管理

鈴木 正之

十月十七日、十八日にかけて戸塚支部による名木古木視察一泊研修会に参加しました。

まず、一日目に行った山武郡横芝光町の稲荷大神にあるイチョウですが、樹齡が推定五〇〇年という大木でした。幹から無数の氣根が出てるのが特徴的なことから「稲荷大神乳銀杏」とも呼ばれているそうです。また名前前の由来となった「乳与えの伝説」という話も残っており、大変存在感のある樹でした。またここでは横山一平さんが話しておられた珍しい「オハツキイチョウ」の実を実際に見ることができ、これもまた貴重な体験となりました。

次に同じく横芝光町の新善光寺にあるカヤの木は、どっしりと構える太い幹や空に向かい、うねりながら自由に伸びていった太い枝を一目見るだけで、何百年もの歴史を感じさせるものでした。

元が一つになつていて、夫婦杉と名づけられたようです。看板には、根元からは子供の木が生えているということや、お祈りをするると子宝に恵まれるとの説明が書いてありました。

しかし、よく見ると子供の木はスギではなくてカヤの木で、そしてその隣には立派なカヤの大木がそびえ立っていました。意味深な状況に参加者の笑いを誘っていました。

二日目には香取郡東庄町の東大社にある、幹の半分ほどがうろになつているケヤキの大木や佐原市の側高神社にある樹高三十五メートルもある「千年杉」などを見ました。中でも香取市の諏訪神社にあるスダジイはとても立派な根張りでした。樹齡推定三〇〇年のこのスダジイの根張りはまるで大きな岩を抱えているようなとても力強いものでした。

のような大変有意義な研修会の機会を作っていたたい戸塚支部長はじめ関係者の皆様に、この紙面をお借りしまして御礼申し上げます。

戸塚支部 情報委員

七澤 久信

平成26年10月17、18日にかけて戸塚支部では恒例行事である「名木古木視察研修会」をおこないました。

昨年度は千葉県館山方面を視察しましたので今年も同じ千葉でも最東端にあたる銚子方面を支部会員12名に青年部員2名を加えた計14名参加での研修となりました。

戸塚支部では青年部員有志が見学を兼ねた事前調査を行い、バス進入の可否、お寺や民家へのご挨拶、資料作成等を行っていたおかげで当日はスムーズに進行することが出来ました。

先ず東金市にあります八坂神社のイチョウから始まり、駒形神社のシイノキ、新善光寺のハイノキと見て回りましたが、どれを見ても流石に樹齡数百年だけの事があり、大きさもさることながら、たずまいやその地に生き続けてきた威厳

を感じました。文明がどんなに進歩しようとも樹はそこに生き続け、何百年も変わらず静かに私達人類を見続けてきた：そんな気がしてなりませんでした。

また現在の戸塚支部支部長の横山さんは樹木医をされておられ樹の状態や対処法、周辺に生息している珍しい樹木等についても詳しくご教授してください、終始驚きと感動の連続でした。

初日の見学を終え犬吠崎にある宿泊先では懇親の場を設け、さらなる親睦を深める事ができました。翌朝は関東最東端の朝日を見るべく5時30分には起床して露天風呂より朝日を眺めました。大海原の水平線より昇る朝日はとても美しく一瞬誰もが言葉を失っていました。二日目も東大社のケヤキを初め側高神社のスギ等、数か所を見て廻り帰路につきましましたが、中でも香取神社のスギは樹齡1000年と言われている一際異彩を放っていました。青年部員には良い刺激になり、諸先輩方をも領かせる有意義な研修会を行う事ができました。



オハツキイチョウ



稲荷大社乳銀杏



八坂神社のスギ



鎌数伊勢神宮の夫婦杉



新善光寺のカヤ



香取市諏訪神社のスダジイ



駒形神社のシイノキ